

拠出金名： 国際ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラムへの拠出金

国際機関名	国際ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム推進機構（略称）HFSPPO					
種 別	国連本体		国連専門機関		○ その他	
所轄官庁担当局課名	文部科学省大臣官房国際課					
最近3年間の我が国支払額及び拠出率、ODA率						
単 位	金 額				拠出率（％） （注1）	ODA率（％）
	邦 貨 （千 円）	外貨1 （千ドル）	外貨2 （千 ）	レ－ト		
平成15年度	2,399,333	19,666		1\$ = 122 円	(2003年) 60.2	0
平成14年度	2,399,222	19,666		1\$ = 122 円	(2002年) 65.0	0
平成13年度	2,399,224	22,423		1\$ = 107 円	(2001年) 74.5	0
	(注2)					
拠出上位5ヶ国						
	国 名		率（％）		左の率及び順位は 2003年のもの	
1位	日本		60.2			
2位	米国		20.0			
3位	EU		6.2			
4位	ドイツ		4.8			
5位	フランス		3.4			
当該機関に対する我が国としての評価（当該国際機関の政策に対する我が国の意見の反映度を含む）						
本プログラムは、1987年中曽根元首相がヴェネチア・サミットで提唱した国際プロジェクトで、生体を持つ精妙かつ優れた機能の解明に寄与する基礎研究を国際的に共同して推進し、その成果を広く人類全体の利益に供することを目的としたもので、世界的に高く評価されている。 本プログラムを推進する国際ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム推進機構は、フランス・ストラスブールに設置されており、1990年度から国際共同研究に対する助成事業、フェローシップ事業及びワークショップの開催という3つの支援事業を通じて、世界の科学者の国境を越えた研究活動の支援を行っているところ、提唱国である我が国としても高く評価している。						
合理化、機能強化のための改革が行われているか。 行われている場合はその現状と我が国としての評価						
本プログラムの運営支援国による政府間会合及び外部評価機関により定期的に本プログラムの評価が行われている。これらの評価結果に基づき、これまで財政基盤の強化など機能強化が図られてきており、提唱国である我が国としても積極的に支援している。 なお、2001年に行われた外部評価機関による総合評価においては、本プログラムが大陸間的で、学際的な研究に対する比類のない支援の資源であること、本プログラムの出版物は、水準以上によく引用されていることなど非常に肯定的であった。						
邦人職員数 うち幹部(D1) 以上	2 人 うち 1 人		当該機関の職員数及び 邦人職員が職員全体にし める率		13人 15.4%	
邦人職員が占めている幹部ポスト						
ポストの名称(ランク)		職 員 氏 名		備 考		
事務局次長		白尾 隆行		文部科学省から出向		
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画						
引き続き邦人職員を送ることを計画。						

（注1）我が国と各国とは会計年度が異なるため、拠出率については暦年（2001年～2003年）。

（注2）文部科学省拠出分のみ。我が国からの拠出額（うち経済産業省拠出額）は次の通り

平成15年度：31,248千ドル（うち11,582千ドル）、

平成14年度：31,248千ドル（うち11,582千ドル）、

平成13年度：37,046千ドル（うち14,623千ドル）。